

医科大どおり

CONTENTS

- 女性総合医療センター
- 病棟紹介（新館5階東病棟）
- スペシャリスト紹介（診療情報管理士）
- コンサートのお知らせ
- 研修医・指導医紹介
- はじめまして
- 私の好きな風景
- 医科大Q&A



嶋津さま

- おとうさん 正芳さま
- おかあさん かほりさま
- 赤ちゃん 伊織(いおり)くん
平成29年2月20日生
2,462g 男の子



はじめまして

1人目を医科大で出産したときに、先生をはじめ助産師さん・看護師さんなどにとってもあたたかくサポートをしていただいたので、今回の2人目を妊娠したときも、また医科大で出産したいと思いました。いざ陣痛のときになると、経験していても耐え切れないほどの痛みで、先生・助産師さんなど多くの方々の手を借りながら無事に出産することができました。産後も、1人目と同じように赤ちゃんはお乳を飲んでくれず戸惑いましたが、あたたかい助産師さん達に相談し、指導を受け、徐々に上手く飲んでくれるように成長してくれました。退院するまで見守っていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。家族を含め、沢山の方々に支えてもらったことを忘れず、家族4人で元気に過ごしていきたいと思います。

私の好きな風景

日本最大級のおオゴマダラ蝶が、春先になって盛んに羽化し、蜜台に群がる。時々、持っているカメラの手指にも撮影中に止まってきて、おオゴマダラに愛着を感じてしまう。(白山市ふれあい昆虫館)



撮影:出版メディア課 中谷 渉

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

- 当院は、医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。
- 人間としての尊厳や人権が尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
 - 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
 - 十分な説明と、情報提供を受けたうえで、ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
 - 治療のどの段階においてもセカンドオピニオン（他の医療機関の医師の意見）を求めることができます。
 - 診療記録の開示を求めることができます。
 - プライバシーは尊重され、個人情報厳重に保護されます。
 - 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さんへのお願い

- 当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。
- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
 - 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
 - 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
 - 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないよう配慮ください。
 - 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

お答えします！医科大Q&A

Q なぜMRIで保温下着(ヒート…など)がダメなのですか？

A MRI検査では磁石の力を体を与えて画像を作っています。この磁石の力を与える際に、体の中の水分によって電子レンジと同じ原理で体が多少温かくなります。通常の検査では少しポカポカする程度なので全く心配はありません。

しかし、保温下着などは人の体から出る汗を利用して発熱するため、これらを身に着けていると体が熱く感じてしまうことがあります。また、素材に金属繊維が織り込まれている場合もあり、下着自体が発熱してしまうため火傷の危険性があるほか、画像に悪い影響を与えてしまいます。その他、遠赤外線下着なども金属繊維が織り込まれているものがあります。

これらの理由から、MRI検査の際にはこれらの保温下着を脱いでいただいております。検査室内は機械の安全性を保つために温度調整されています。検査中に寒さを感じられるようでしたら、タオルケットを掛ける等の対応をさせていただきますのでお気軽にお申し出ください。

(中央放射線部 MRI室)



のと里山海道(内灘)より望む金沢医科大学病院

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さん中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

女性総合医療センター

〈女性の生涯を通じた健康サポートを目指して〉

概要

2002年3月、金沢医科大学病院に女性外来を開設し、今年で15年を迎えます。性差を尊重した医療の重要性が注目され時代のニーズに対応しながら、現在の女性総合医療センターとなりました。女性はライフサイクルを通して、男性とは異なる健康上の問題や社会的な問題に直面します。思春期から月経がはじまり、性成熟期での妊娠・出産・育児、子供の思春期や介護と重なる更年期、そして老年期とホルモンの変化により体は変化し、女性特有の症状や病気は極めて多様です。そんな女性の特徴を踏まえ、一人ひとりのライフステージと現在の健康状態に合わせた医療を提供しています。

2016年4月に女性活躍推進法が施行され益々女性の活躍が期待されますが、男性も女性も輝くための根幹は、健康です。私共、女性総合医療センターは、先制医療・予防医学の観点から未病の段階からアプローチすることで、輝く女性の健康をサポートします。



女性総合医療センタースタッフ

特徴・特色

総合的な診療を行うために、初診の際は、症状を含め時間をかけてお話をうかがい、その上で診察させていただきます。また、診察室はプライバシーに配慮した個室で、すべて女性スタッフで対応させていただきます。特徴は、コンシェルジュナースという専任看護師が相談をお受けし、必要に応じて担当医から各診療科へ紹介させていただきます。

月経に関する不調、更年期障害、生活習慣病、骨粗しょう症、美容等を中心に、その他様々な症状や、不調があるがどこの科を受診してよいかわからない場合など、お気軽にご相談ください。

西洋医学に加え、漢方治療、管理栄養士による栄養指導、臨床心理士によるカウンセリングも行っています。女性が健康に関する正しい知識を身に付け、ライフスタイルを改善することは、家族や次世代の健康づくりにも繋がると考えます。



看護師による問診

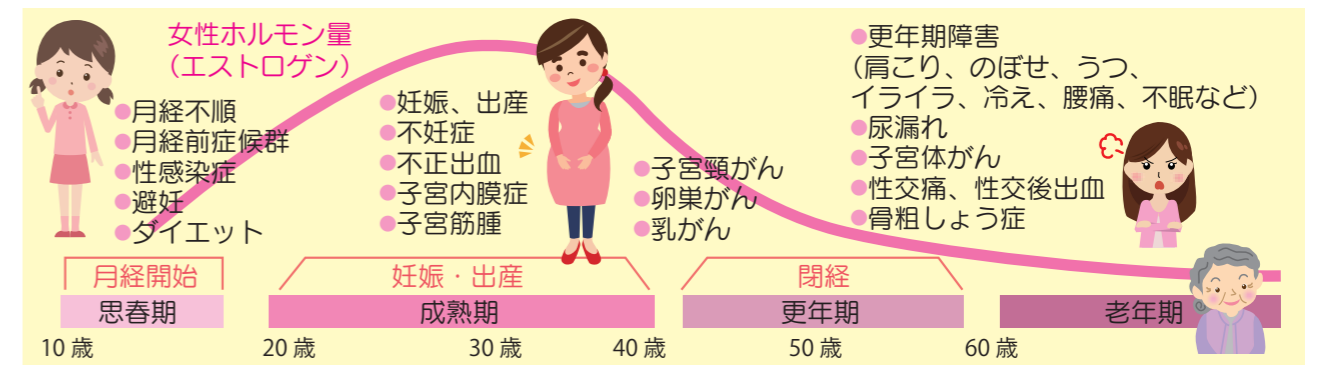


管理栄養士による栄養指導



アロマセラピー施術

女性ホルモンの変化と疾患



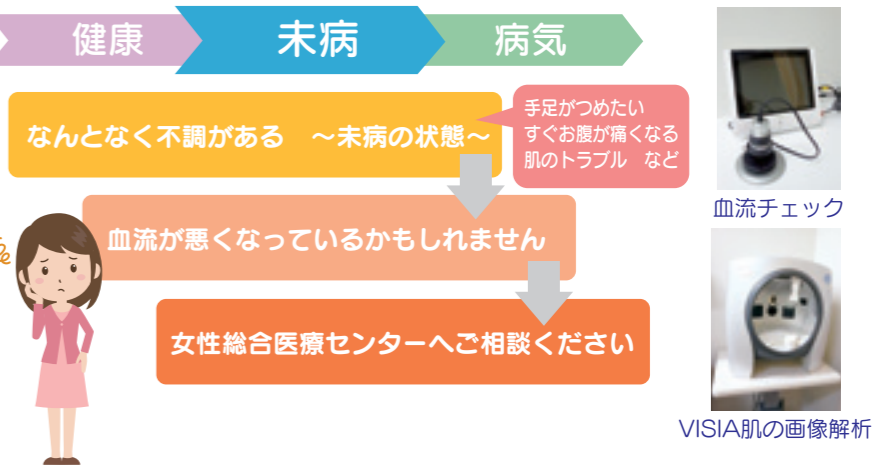
女性ホルモンのサイクル

女性ホルモンの分泌量は年齢とともに変化し、それに伴う女性特有の症状やそれぞれの時期にかかりやすい疾患を知ることは大切です。

たとえば、20代30代は月経に関連する月経不順、月経前症候群（PMS）、子宮内膜症、子宮筋腫などの疾患が起こりやすく、また女性特有の病気や子宮がん、卵巣がん、乳がんにも注意しなくてはなりません。40代50代ではエストロゲンの減少によって起こる更年期障害を中心に骨粗しょう症、動脈硬化、生活習慣病などのリスクも上がってきます。

このような症状は、ホルモンの変動とうまく付き合い、血流をよくすることで未病の段階から改善することができる場合があります。

「なんとなく不調だな」と感じたら一度、女性総合医療センターにお越しください。経験豊富な医療スタッフとともに親身にサポートいたします。また、特に症状がなくても1年に1回の検診は必ず受けるようにしましょう。



女性総合医療センター
TEL.076-218-8319

◆問合せ◆

◎完全予約制です◎
診察をご希望の方はお電話または、窓口でご予約ください。

◆女性の健康に関して是非検索してくださいませ



●金沢市×女性の健康
<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/23030/joseinokenkou/joseinokenkou.html>



●石川県×女性の健康
<http://www.pref.ishikawa.jp/kenkou/josei/>

病棟紹介（新館 5 階東病棟）

スペシャリスト紹介

腎臓内科の病棟・血液浄化センター

新館 5 階東病棟は、他の病棟と異なり腎臓内科 22 床、共用ベッド 3 床からなる病棟部門と外来患者さんや他の病棟で入院されている患者さんが血液浄化療法を受けられる血液浄化センター 24 床で構成されています。

看護師 27 名（病棟 19 名・血液浄化センター 8 名）、看護補助員 2 名で、患者さんが安全に検査・治療を受けられるようスタッフ一同「心かようふれあいの看護」を目指して日夜頑張っています。



病棟・血液浄化センタースタッフ



スタッフステーションで仕事をしている様子

腎臓内科病棟



病室で指導している様子

腎臓病は、尿の異常の診断から血液浄化・腎移植まで幅広い治療が必要な場合があり、中には薬物療法や食事療法を退院後も継続しなければならない疾患もあります。そのため患者さんが長く治療を継続できるようにパンフレットなどを用いてわかりやすく説明するよう心掛けています。特に透析が必要になった患者さんに対しては、血液浄化センターの看護師と連携し患者さんが疾患と向き合い腎臓病と共に生きる為の心の支えになればという思いで支援させて頂いています。また医師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、リハビリ技師、在宅療養支援専任看護師などの多職種のスタッフと連携・協働し、患者さんができるだけ早く自宅に帰れるよう支援しています。

血液浄化センター

センターのスタッフは、看護師 8 名と臨床工学技士 2 名が従事し、日曜日以外血液浄化療法を行っています。どこにも負けない水質管理と質の高い透析を実施している自負はありますが、長期透析による合併症を抱える方が増え、透析の継続自体が困難な状況も増えています。厳しい現状ですが、私達透析スタッフは、患者さんの伴走者の如く寄り添い支えながら共に明るく、更に成長していきたいと考えています。



血液浄化センターでの指導の様子

（記：新館 5 階東病棟 師長 蛸島 智子）

診療情報管理士

診療情報管理士とは？

病院には、患者さんの診療内容や病状等を記録した「診療録（カルテ）」と呼ばれるものがあります。診療情報管理士は、診療録の情報を正しく管理し、データの分析・加工を行うことで、病院経営や医療の質を高める役割を担っています。社団法人日本病院会が認定する試験に合格すると「診療情報管理士」として働くことができます。



診療録管理室

主な仕事内容



医師からの依頼対応

診療録には病院のあらゆる情報がつまっており、間違いや記載漏れがあってはなりません。記録に間違いがないかを点検しつつ、入院された患者さんの病名や手術等を登録することが主な仕事です。病名や手術は、WHO（世界保健機関）が定めた国際基準を元に、コーディング（特定のコードに置き換える）することで、多くの情報の中から特定の病気や術式を抽出することが出来ます。

登録した情報は、学会発表や研究等に利用したり、病院ホームページに公表することで、患者さんの病院選択にも役立っています。

仕事のやりがい

診療に関する情報を登録するには、医学的な知識や他職種間とのコミュニケーションが必要です。研修会や学会へ参加し、他施設で行っている業務や日々変化する治療法や薬剤のお話を聞き、そこで習得した新しい知識を活かして仕事が出来るところにやりがいを感じます。分からなかったことが理解出来たり、先生方からの依頼に応えることが出来たときに、もっと頑張ろうと思えます。



院内がん登録研修会風景

今後の目標

「診療情報管理士って何をしている人？」と病院内でも中々周知されておらず、自分達の力不足を実感しています。“ここに仕事をお願いすれば大丈夫”と誰からも信頼される存在になっていくことが今後の目標です。そのためにも、さまざまな要求に対応できるよう発展し続けていきたいです。

（記：医事課 診療情報管理士 佐藤 未来）

コンサートのお知らせ

入場無料

うちなだ・夕べのひとときコンサート

セラピーコンサート (平成 29 年度)

場所：新館 1 階ロビー 17:00~18:00

◎主催：金沢医科大学病院音楽療法研究会／協賛：アカシア商会／後援：北國新聞社

開催回	開催日	内容	出演者
192回	4月5日	ヴァイオリン&ピアノ コンサート	ヴァイオリン：福田 愛 / ピアノ：平田 美穂子
193回	5月17日	トランペット&ピアノ コンサート	トランペット：高木 修一 / ピアノ：金谷 優里
194回	6月21日	版画と音楽 コンサート	ビジュウ
195回	7月19日	ソプラノ&ピアノ コンサート	ソプラノ：東 朝子 / ピアノ：押田 真澄
196回	8月23日	ピアノソロ コンサート	北林 多香子
197回	9月20日	琴・尺八・箏 コンサート	中橋 雅竜声 他
198回	10月18日	ヴァイオリン&ピアノ コンサート	ヴァイオリン：大久保 秋子 / ピアノ：大竹沙里
199回	11月15日	マリンバ コンサート	亀井 恵
200回	12月20日	クリスマス コンサート	医師など
201回	1月17日	雅楽 コンサート	金沢市神道青年会
202回	2月21日	女声ヴォーカルアンサンブル	かんだーびれ かすみ
203回	3月7日	児童合唱 コンサート	金沢市立千坂小学校 合唱団「ドリーム」
204回	3月28日	ソプラノ&ピアノ コンサート	ソプラノ：表 まり子 / ピアノ：山田 ゆかり

土曜ふれあいタイム

(平成 29 年度)

場所：新館 1 階ロビー 14:00~15:00

◎主催：看護部

開催回	開催日	内容	グループ及び代表者
207回	4月8日	ピアノ	小枝慶子
208回	5月13日	シャンソン	山口まさと
209回	6月10日	サマーコンサート	金沢医科大学クラシック音楽部
210回	7月8日	マジック	マジシャンメンバーズ 代表：宮本 登
211回	8月12日	シャンソン	越田美起代
212回	9月9日	ピアノ	辰巳千代子
213回	10月14日	歌	鈴木美智子 (盲目の歌手)
214回	11月11日	ピアノ・箏 シンセサイザー	羽咋ト音記号クラブ 代表：服部好恵
215回	12月9日	クリスマスコンサート	金沢医科大学クラシック音楽部
216回	1月13日	オカリナ演奏	ハマナスフレンズ 代表：有松理恵
217回	2月10日	マジックショー	マジシャンルパン 代表：タカダリュウジ
218回	3月10日	シャンソン	のと・アミカル・ド・シャンソン 代表：中村長嗣

※出演者の都合で変更もございます。ご了承ください。(金沢医科大学病院ホームページにて随時更新)

研修医・指導医紹介

研修医紹介



1年次初期臨床研修医

川北 恵美 (かわきた えみ)

石川県出身

【医師を志したきっかけ】

きっかけは高校時代に地元の病院で職業体験をさせて頂いたことです。病院では、多くの職種の方たちが協力し合い患者さんと向き合う姿がみられ、患者さんと医療者にはある種の信頼関係があるように感じました。患者さんの病を含めた人生に関わり、少しでもよくできる可能性があるなら、とても責任感とやりがいのある職業だと感動し医師を志すようになりました。

【臨床研修中に印象に残ったエピソード】

私がある科で研修中に、入院期間が長くなった患者さんがそれまでに言わなかったような愚痴をこぼし、治療を拒否されたことがありました。その時に私はなんと声をかけたらいいかわかりませんでした。自分が一生懸命勉強し最善と思われる治療方法があっても、それが実際に患者さんの望む選択とは限らないことを知りました。学生時代にある先生がおっしゃった「病ではなく患者をみる医師になって下さい」という言葉を思い出しました。当たり前のように思えて難しいこの言葉を忘れずに、何がその方にとって最善なのかを一緒に考えていけるよう努力していきたいです。

指導医紹介

消化器内科

大塚 俊美 (おおつか としみ)

【最近の研修医の指導について感じていること】

医者になって十数年が経ちましたが、私が研修医だった頃とは随分変わりました。そんざいだと感じていた研修制度も整い、研修設備も充実しています。一番羨ましいのは指導の仕方です。世の中の風潮としても今の時代は怒らず教え、相手(研修医)が分からなければ、それは指導する側の問題だと言われるぐらいです。確かに昔ほど研修医が怒られている光景を目にしなくなりました。ただ、こんなに恵まれた中で研修を終え各医局へ入局した時に、昔の体制のままの医局も多く、その格差に不満の声が出ないだろうか少々不安です。

【自分の研修医時代との違い】

いつの時代の研修医も「言った事をしていない、調べていない」など注意する点は皆同じで、自分が研修医だった時も似た様なものでした。ただ今は指導する側なので、自分が研修医だった時に上級医の先生に中々質問しづらかったことなどを思い出しながら、研修医に接しているつもりです。でも今の研修医の方が認定医や専門医など将来を見据えた目的意識をしっかりとった研修を行っているように感じ、こちら側としては、気が引き締まる思いです。